

# 原発 ゼロ にむかって

2011年11月8日 No.2

<http://www.tokyominiren.gr.jp/>

編集・発行／東京民医連事務局 tel: 03-5978-2741 fax: 03-5978-2865 mail: sien@tokyominiren.gr.jp

## なくせ！原発 10・30大集会 in ふくしまに1万人



3月11日の福島第一原発事故以前の  
福島の美しい自然と大地、県民のあたりまえの生活を取り戻し  
国と東京電力に責任を果たさせ、大きな被害を作り出した  
「原発」をなくす運動が1万人集会に結実しました。

**「この子の命は私が守る」** 呼びかけ人の片岡輝美さんは「3歳の子どもにがん保険をかけたお母さんは『どんなことがあってもこの子の命は私が守る』と決意している」と紹介。現地の母親たちがどんな思いでいるかを伝え、原発をなくすために運動を広げる決意を語りました。浪江町長・飯館村村長は、ふるさとを奪われた町民の思いを訴えました。「子どもたちの叫び」のコーナーでは、子どもたちが自分の思いを参加者に訴えました。「幼稚園の外の遊具で遊びたい！（5歳の男の子）」「お外でかくれんぼしたい！（4歳の男の子）」の訴えに共感の大きな拍手が寄せられました。

### 集会やってくれてありがとう！

最後に子どもたちが集会アピール「ふくしまに生き、明日につなぐ～ふくしまからのよびかけ～」を確認してパレードに移りました。パレードを歩く高齢の女性は、実行委員会のテントに駆け寄り、「集会をやってくれてありがとう！家にも帰れず7カ月避難所で3食弁当の生活。今日は12人がバスで来た。外に出るとこのまま家に帰りたい、とみんな思う。でも命があっただけ良かった。一時帰宅で家に帰ると草は伸び放題、犬や猫が部屋に入ってフンだらけ。泥棒も入っているし大変な状況。でも頑張るからね！」と握手をして、パレードへ戻っていきました。こちらの方が元気をもらう思いでした。



### ←「放射線測定中」のぼりを作成しました！

←地域に出て放射線測定活動を行う際の「のぼり」を作成しました。

各法人に見本をお送りしています。無料です（法人単位でご注文下さい）。事業所や共同組織・友の会での測定活動にご活用いただき、放射線に対する不安を抱く地域の方々との対話もすすめていただければと思います。ぜひご活用下さい！